

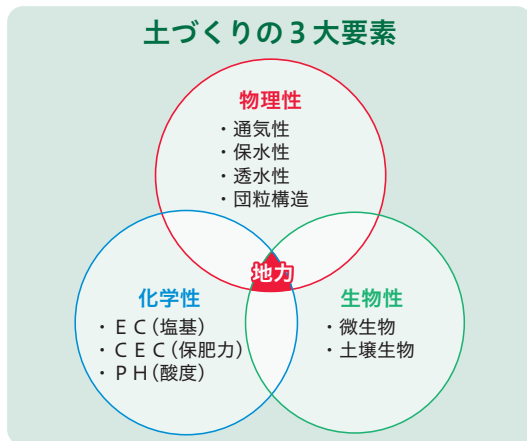
ヤシの実主壤改良材で地力アップ

「グリーン・ベラボン[®]」で 土づくりを見直す

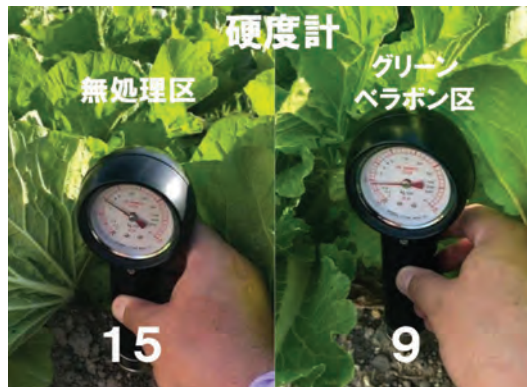
株式会社フジック 西日本営業部 ゼネラルマネージャー
やまもと やす はる
山元 泰治



↑タキイオリジナル商品の「グリーン・ベラボン」。



生産コストが上昇している中、元々な株を作り利益を確保していくために一度、土づくりを見直していく必要があります。堆肥、腐植酸、石灰（化学性）や微生物資材（生物性）に目が行きがちですが、化学性や生物性を向上させるには物理性（通気性・保水性・透水性）の改善を行い気相・固相・液相のバランスを整える必要があります。その物理性すべてを改善できるのが「ベラボン」です。ヤシの実チップ「ベラボン」は土壌の加湿や過乾燥を防ぎ、根腐れや根傷みを回避します。土壌にすき込むことで土がやわらかく通気性がよくなり根の発育、特に細根の生育に大きく貢献します。しっかりと根を育てることにより、養分を十分に吸収できる株を育てます。



↑土がやわらかく、通気性がよくなる。

天然有機物の「ベラボン」は、非常にゆっくり分解するので3～5年は土壌中で物理性を保持し、長期間にわたる効果が期待できます。また、土壌中の有効微生物、菌の住処やエサとなり繁殖を促し菌バランスを整え、病気の出にくい環境を作ります。これらの働きにより炭酸ガスを発生し作物の活性化にもつながります。

タキイ種苗と共同開発 「グリーン・ベラボン」

ハウレンソウ、シュンギク、コマツナ、葉ネギなど軟弱葉物野菜の土壌改良に特におすすめです。連作圃場で土のしまりの軽減や、灌水時のムラやボタ落ちによる水ムラでの生育不良、発芽ムラをなくし生育バランスを整えます。しっかりと根を張らせることにより、



↑コマツナ生育比較：
左「グリーンベラボン」使用。
根圏が広がり、葉も厚くなっている。

株重の充実や秀品率の向上など、生産ロスを軽減し収益アップが期待できます。葉ネギ、タマネギ育苗の圃場では、土のしまりの軽減により収穫時の作業性が向上すると好評です。

土壌改良に「スーパーベラボン」

2～3cm角のチップと長さ5cmほどの長さの繊維と粉がバランスよく配合されています。水はけの悪い粘土質土壌から、乾燥でしまりやすい砂質土まで幅広く使用でき改良効果を実感できます。ナス、キュウリ、ピーマンやイチゴ、ユーストマなどの切り花類、果樹、花木の土壌改良に使われています。施設園芸での促成・半促成栽培の圃場では、収穫後期になると株弱りや成り疲れから病気になることや、収穫期間が短くなる場合があります。「スーパーベラボン」をすき込めば、強い根を育て、長く収穫することができ収量アップにつながります。さらに、寒い時期には土の中でしっかりと根を育ててくれるため、暖かくなってきてからの

「グリーン・ベラボン」「スーパーベラボン」「ゴールドベラボン」「あく抜きスーパーベラボン」の100ℓ製品は、生産者向けの特別な梱包規格で小売販売は行っておりません。インターネット、量販店、園芸店での取り扱いはありませんのでご注意ください。生産者向けの販売店（種苗店）、もしくは株式会社フジックまでお問い合わせください。



↑ 苗の乾燥を防止し、初期成育を促す。



↑ 培養土に「ベラボン」を1割プラス。発根を促し、良質な苗を育てる。



↑ 底部に「あく抜きスーパーベラボン」、上部に「ゴールドベラボン」を使用したイチゴ栽培。

特殊製法の「ベラボン」



原料となるココヤシの実繊維部分は本来、水を吸収しません。「ベラボン」は特許取得の特殊製法で、水を吸ったり吐いたりできるスポンジ状に加工したもので、瞬時に水を吸収することが可能です。他社製品のあく抜きは、塩害を出さないよう水洗いされたものが多く、ヤシの実特有のタンニン（一般的に生育阻害物質といわれています）が取り除かれているかは不明です。「あく抜きスーパーベラボン」は、あく抜きとタンニン除去がされており、安心して使用することができます。

分析成績

水分	13.76%	陽イオン交換容量(乾物換算値)	32.9me/100g
チッソ(N)	0.19%	最大容量水	1.650%
リン酸(P)	0.20%	pH	5.5(あく抜きは6.2)
カリ全量(K)	2.03%	炭素率	162

マルチニングに「スーパーベラボン」

株の動きや着果に、よい影響を与えてくれます。

猛暑やゲリラ豪雨など、異常気象が叫ばれる中での定植や生育に大いに役立つのが「スーパーベラボン」のマルチングです。乾燥を抑えることはもちろ

ん、畝上に敷き込むだけで地温の上昇を抑える効果があります。土だけの場合と比べて最大、約4℃も低く推移し、乾燥防止、初期の活着や生育に役立ちます。切り花栽培では、上根の発達を促し暑い時期での秀品率の向上が期待できます。

また、ハウス内のぬかるんだ通路に「スーパーベラボン」をマルチングすることで、収穫作業がしやすく、湿度コントロールにも役立ち、そのままき込んで翌年からは土壌改良材として効果を発揮してくれます。

養液栽培に「ゴールドベラボン」

「あく抜きスーパーベラボン」

イチゴの高設栽培に使用されている培地やトマト、キュウリの養液栽培、ブドウの根域制限栽培でも「ベラボン」が使用されています。分解が遅く、しまりにくい特性が目詰まりによる排水不良を防ぎ、根傷みによる株弱りやチップバーンを防いでくれます。

花、野菜苗生産には「ゴールドベラボン」

苗生産用のポットは培養土が少ない

ため、少しのしまりや加湿で根傷みが起こりやすくなります。また暑い時期の播種や育苗は、高温による蒸れに注意が必要です。培養土に対して「ベラボン」を10%混用すると、土がしまらずポット内に空気を保ち、余分な水を排水し二次根、三次根の発生を促し根の老化を防ぎます。早出しのパンジー、ピオラやガーデンシクラメンに最適で、良品苗の生産によりロスが減り利益に結び付けていくことができます。

お問い合わせ先 株式会社フジック

東京都板橋区赤塚1-17-16
TEL:03-5997-1011